

(2) 年 教科【 英語 】

使用教科書	NEW HORIZON English Course 2	
学習の目標 ・ねらい	・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え方などを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。	
年間の 授業内容	前期	4月 be 動詞の過去形、過去進行形、動詞の過去形・There is / are ・未来表現の用法 5月 5つの文構造、接続詞の用法、依頼・誘う表現 6月 不定詞の用法(名詞・副詞・形容詞的用法) 7月 不定詞の応用表現、未来の自分に対してメッセージを書く、History of Clocks(文章読解) 9月 天気予報、助動詞(have to・must)、動名詞
	後期	10月 手紙の書き方、疑問詞+to、 11月 道案内の表現(電車)、比較表現の用法、more・most を伴う比較表現、better・best を伴う比較表現 12月 買い物の表現、人気調査を調べて発表する、A Glass of Milk(文章読解) 1月 CMを聞きとる、受け身表現の用法、世界遺産についての紹介 2月 電話表現(誘う・断る)、店内放送の聞き取り、 3月 自分のおすすめの場所の紹介、Pictures and Our Beautiful Planet (文章読解) 2年生の復習
特色ある 学習など	・活動隊形…個人活動・ペアワーク・グループワーク ・使用教材…情報機器・視覚教材	
評価の観点	<p>知識・技能…外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけているか。</p> <p>思考力・判断力・表現力…コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができるか。</p> <p>主体的に学びに取り組む態度…外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。</p>	
評価の方法	・考査、小テスト、パフォーマンステストの内容。ノート、ワーク、ワークシートなど提出物の内容。授業態度や振り返りの様子を内容のまとまりごと(対話、発表、書くこと)に評価。上記の観点に基づき総合的に評価する。	
注意事項	・特になし	